

2016年3月30日
東日本旅客鉄道株式会社

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言への賛同について

東日本旅客鉄道株式会社の取締役会長の清野智は、内閣府が支援する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言に賛同しましたので、お知らせいたします。



今、山手線の車掌の4割が女性社員です。また在来線の運転士はもちろん、女性の新幹線の運転士も増えてきました。かつては、男性だけの社会であった当社でもダイバーシティを推進し、多様な人材がその能力を最大限に発揮できるような会社となることを目指しています。そして、駅などの現場の管理者はもちろん、商品開発の場面や、メンテナンス、支社や本社の管理職として活躍する女性社員が増えることを期待し、育成していきます。

清野 智

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言について

平成26年3月28日に首相官邸で開催された「輝く女性応援会議」を契機に、輝く女性・輝こうとする女性たちを応援する各界のリーダーたちによるムーブメントが広がっています。このような中、女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業の男性リーダーによる「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言が取りまとめられました。

※「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言ホームページ

http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders.html

東日本旅客鉄道株式会社の女性活躍推進施策について

女性活躍を推進するため、JR東日本では、アクションプラン（女性活躍推進法の行動計画と同じ）を定め、2016年度～2018年度末までの3事業年度で以下の目標に取り組めます。

■3つの目標と取組内容

目標1 2018年度末までに、新卒採用者に占める女性比率30%以上を目指す。

このうち将来乗務員を目指す新卒採用者に占める女性比率40%を目指す。

- ・女性社員の技術力や、地域貢献など多様な事業への参画、働き方等をHP等に掲載し社内外にPR。
- ・採用活動以外に、女子学生、理系女子学生を対象とするキャリアイベント等への積極参加。

目標2 多様な働き方を実現し、すべての社員がいきいきと働き続けることのできる環境を整備する。

- ・ワークスタイル改革を推進し、就業場所を選ばない勤務スタイルを実現。
- ・社員の「働きたい」という意欲を支援するため、両立支援制度を更に深度化し、より柔軟な制度改正を検討。
- ・育児・介護期の不規則勤務へのチャレンジ支援（事業所内保育所等の増設検討）
- ・男性の育児参加環境の整備（性別に依らない役割付与風土醸成）

目標3 2018年度末までに、管理職に占める女性の比率5%を目指す(2015年4月1日時点、約3%)。

- ・能力を最大限に発揮し、活躍できる環境・機会の創設（地域異業種交流等機会創出）
- ・多様なロールモデルの紹介やグループ全体のネットワークを強化し、社員が自らキャリアプランを形成する環境を整備。